

# 地域密着型サービス評価の自己評価票

(  部分は外部評価との共通評価項目です )

取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>			
1. 理念と共有			
1	<p>○地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>	基本理念を明示し、毎朝唱和しています。	
2	<p>○理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>	朝礼で基本理念を唱和し、実現に向けて取り組んでおります。	
3	<p>○家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる</p>	理念、基本方針を玄関に掲示しており、ご家族にも説明しています。地域の方にも運営推進会議に参加していただき理解を得ています。	
2. 地域との支えあい			
4	<p>○隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄りもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p>	海岸周辺に散歩に行った時や、売店で休憩させていただいた時に、日常的な会話をさせていただいています。隣接した通所介護、支援センターと連携を図りながら行事等に積極的に参加しています。	
5	<p>○地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p>	デイサービスセンターの催しに参加させていただいて、馴染みの方たちとお話されたり、公園、海岸への道路のゴミ、缶拾いを毎月行っています。	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	運営推進会議の場で、地域の方々にも理解していただけるよう話題に出しています。峠、海岸のゴミ拾いをすすんで行っています。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価、外部評価の意義を理解し、全員で改善に取り組んでいます。		
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議でご意見やご要望を伺い、活かしています。		
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	入退居状況の報告、介護保険更新の申請等を行っています。また、色々と相談に行かせていただいています。		
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	当法人の社会福祉士より、権利擁護事業や成年後見制度の利用方法について研修を受けており、必要時には活用するようにしています。		
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	法人の接遇研修や介護課会を通じて学ぶ機会を持ち、全職員が理解をし、防止に努めています。運営推進会議の議題にも出し、小さな事でも見過ごされる事の無いよう取り組んでいます。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	利用者、ご家族に見学していただき、説明し納得された上で入居されます。解約の時も本人、ご家族の気持ちになり今後のお話をし、退所後も不安を軽減できるようご相談に応じております。	
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	日頃から声かけをし、苦情や不満、事業所としてできることがないか尋ね、利用者が安心して生活できるよう心がけています。ご意見箱を設置するなどし、取り組んでいます。プライバシーにも気を付けて、話しやすい雰囲気づくりをしています。	
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	面会に来られた時や電話にて状況を説明しています。また、体調変化時はすぐに外来受診し、ご状態そして結果をご家族に連絡しています。金銭についても定期的に確認、サインをいただいています。	
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議への参加、また、家族会の回数を増やし、集まりの場を作っています。(ご意見箱の設置、アンケート年1回、相談窓口、市や国保連の紹介)	
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	定期的に話し合いを持っており、実行しています。	
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	行事やご家族の要望等により話し合いを持ち、適切に職員を配置しています。	
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	離職率は少なく安定しており、代わる場合には利用者へのダメージを防ぐように気を付けています。	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>			
19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内外での研修に参加しており、得た知識を勉強会等行い共有しております。	
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム協会等での研修、勉強会を通じて意見の交換や相互評価の参加をし、サービスの質の向上に取り組んでいます。	
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	運営者、管理者は常に職員と個別に話し合いを持っています。定期的に健康診断を行い、常に健康に気をつけ、ストレスを溜めないようにしています。	
22	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	勤務状況や勤務実績を把握しており、各自が向上心を持って働けるようにしています。	
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>			
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>			
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	事前面談で生活状況や求めていることの把握に努めています。	
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	利用者、ご家族と面談し、状況、状態、困っている事、不安な事等の相談に応じ、希望にそえるよう努力をしています。	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	利用者ご家族の要望に応じ、他の施設等の紹介等も行っていきます。		
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	ご本人に安心していただくため、施設内の説明を十分にし、ゆったりとした時間の中でご家族や入居者の方とお茶やお話をしてサービス利用の開始を行っています。また、短期入所の利用も説明しています。体験入所等を利用していただけるよう取り組んでいます。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	日常生活を一緒に過ごし、教えていただいたり参考にさせていただく場面も多くあります。野菜作り(きゅうり、豆類、かぼちゃ、じゃがいも、玉ねぎ、大根)や花作り、調理の仕方等一緒にすることで支え合っています。		
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	面会時や電話等の時、そして行事や家族会の参加時に食事を共にしながら相談事や、本人の抱えている悩みを一緒に考えています。利用者様とご家族が共に話し合えるような機会を作れるよう取り組んでいます。		
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	グループホーム便りなどで行事の参加を呼びかけたり、絵手紙、押し花を貼った手紙や利用者一人ひとりの思いを書いてもらった年賀状や暑中見舞いのはがきを出しています。		
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	職場の同僚や知人が時々面会に来てくださり、自室で昔話に花を咲かせています。気軽に来ていただけるようプライバシーに気を配り、お茶等を勧め、温かな雰囲気づくりをしています。		
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	共同作業、季節毎の展示物の作成、洗濯物の干し、たたみや掃除、食事の準備や後片付け、野菜、花作り等、職員と共に行うことによって、利用者同士おしゃべりしながら和気あいあいと楽しめるのが生活の一部となっております。共同作業をする事により、仲間意識が生まれ、自室へ招いたり玄関前のイスに座られお話されていることがよくあります。思いやりのある気持ちを大切にしていきたいと思えます。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	退所された後も気軽に立ち寄っていただけるようお話しています。時節のはがきを出したり、お祭り、お花見会の招待を行っています。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人本位に考え、家族からも聞き取ったりして把握しています。		
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	一人ひとりの馴染みの暮らし方、生活歴を家族から聞き取り、職員が共有して把握に努めています。		
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	ご本人やご家族、親類の方から生活歴を聞き、生活のリズムを把握してセンター方式基本情報シートに記入。ご家族にも記入していただいています。		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	ご本人やご家族に話しを聞いて本人がその人らしく暮らしていけるよう、必要な支援を個別の介護計画で作成しています。		
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	状況が変化した時は、ケアカンファレンスを行います。ご家族にご意見、ご要望を伺い、見直しをしています。事例検討会等に参加し、参考にさせてもらって実践に向けています。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個人記録や日々の様子を管理日誌に記録し、朝礼やミニカンファレンスを行い情報を共有しながら介護計画の見直しをしています。		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	法人のOTによる小作品の作り方の指導、また、STによる誤嚥を防ぐため、毎食事前の口の指導を受け、行っている。		
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	本人が地域の方と顔なじみになるよう働きかけています。警察や消防署にも働きかけています。(パンフレットを持って行ったり、運営推進会議の参加をお願いしています。)		
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	隣接している支援センターや通所介護での催し物に参加しています。		
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	運営会議に参加してもらい、様々な相談にのってもらっています。		
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	隣接した病院の定期受診をしたり、昼夜を問わず緊急の診療、往診もしていただけます。個人の希望する病院での受診治療もされています。また、歯科は馴染みの歯科医に往診治療を受ける方もいます。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	かかりつけ医、また、隣接した病院での医師に相談し対応しています。		
45	○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	管理者が看護師であり、日常的な健康管理や医療面での相談、対応を行っています。		
46	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	早期退院できるよう医師、看護師に助言をいただくなどしています。お見舞いには馴染みの利用者と一緒にしています。		
47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	面会時等にご家族とお話させていただいています。また、運営推進会議、家族会においても課題に出し、話し合いを重ねております。		
48	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	看取り介護の理念。方針のマニュアルを作り、ターミナルケアについての話し合いをしています。隣接した病院とも相談し、検討しています。		
49	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	移り住む施設の職員に生活状況を見ていただいて、十分な情報交換を行い、今まで行っていたケアプラン等を引き続き行っていただけるよう努めています。		



項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや介助をしないよう全職員が徹底しています。記録等の個人情報取扱も十分に気を付けております。	
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	本人の希望、要望を引き出し、自分で決められるよう支援しています。決定できない利用者には選んでいただけるような方法で決めていただいています。	
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	食事、入浴等は、その人の体調に合わせて柔軟な支援をしています。一人ひとりに合わせた日常生活の支援をしています。	
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	自己決定を優先し、支援が必要な方にも選べられるよう心がけています。理美容に関しても本人に希望を聞き、ご家族にも協力をいただいたりしています。	
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	畑で収穫した野菜を選別しながら和気あいあいと楽しくしています。材料を切ったり片付けをしたり一人ひとりの力を活かし職員と共に行っています。	
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのもを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	好む物を聞き、一緒に買い物に出かけたり、おやつは手作りするよう心がけています。ビールを飲む方もいます。	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	紙パンツを使用してもできる限りトイレで排泄していただけるよう、時間、その人の様子などを見ながらさりげなく誘導しています。		
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	本人の意向を聞いて希望する日に入浴できるようにしています。また、ゆっくりくつろげるよう時間をかけて入浴していただいています。		
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	日中はテレビ体操や散歩などで体を動かして足腰が弱らないようにしています。快適な睡眠が取れるよう天気の良い日はリネン類の洗濯や布団干しをして、室温にも気を配っています。		
<b>(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	それぞれの力量に応じた手伝い(洗濯物干し、たたみ、落ち葉拾い、食器洗い、調理手伝い、季節の野菜作り)を楽しみながらされています。		
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご自分で管理されている利用者もおり、ご希望があれば一緒に買い物に行ったり、所持していない方も欲しいものがあればお金を渡して支払えるよう見守り支援しています。		
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	買い物、趣味のゴルフに行かれたり、外出を希望される方等戸外に出掛けられるよう支援しています。		
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	ご家族と一緒に温泉や外食に行かれています。また、行事への参加を呼びかけ一緒に行き、楽しんでいただいています。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	いつでも電話が使えるようにしています。プライバシーに配慮し、子機を使っていたり、ご家族にも協力していただきいつでも話ができるようにしています。年賀状、暑中見舞い、絵手紙等を出しています。		
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	家族や馴染みの人達がいつでも気軽に訪問し、お茶等を一緒に飲んでいただいて居心地よく過ごしていただけるよう配慮しています。		
<b>(4) 安心と安全を支える支援</b>				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	法人内で研修や勉強会等を行い、職員全体の意識を高めケアに取り組んでいます。		
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	一人ひとりの気分や状態をきめ細かくキャッチし、安全面に配慮しながら気配り目配りを行う事で自由な暮らしができるようにしています。		
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	常に目配り、気配りしながら、状況の把握をしています。夜間は巡視時、トイレ誘導時に安全確認をしています。		
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	厳重保管が必要なもの、注意が必要なものに分けて管理しています。		
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	投薬はすべて職員が管理し、服薬時に手渡し、服薬介助や飲み込みを確認しています。一人ひとりの行動パターンを把握し事故防止に努めています。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	研修に参加したり、勉強会を定期的実施して万一の時に備えています。また、隣接した病院の看護師の指導も受けています。		
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	毎月避難訓練を入所者と共に行っています。また、運営会議で議題の提出をし、地域の方の協力をお願いしています。		
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	状況をご家族に説明し、納得された上で大事に至らないよう安全策を話し合っています。外出、外泊の時は状況を連絡し合い、事故の予防に努めています。行事の時は参加もお願いしています。		
<b>(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援</b>				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎朝バイタルチェックをして、状態の観察を行い対応しています。日中の体調や表情に気を付け、引き継ぎの時には申し送り簿にも記入し、全員が把握できるようにしています。		
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	病院や家族からの説明を受け、また、薬の説明書で確認し、周知しています。変化のある時などは医師、看護師に相談し対応しています。		
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	繊維質の野菜を多く摂るように心がけ、散歩、リハビリ体操等をして体を動かすようにしています。便秘薬は便の状態を観察し、医師に報告し相談しています。		
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後声かけをして歯磨きを行っています。自分でできない方は誘導し、介助しています。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	病院の献立表を参考にしてバランスを考えながら季節の野菜を取り入れ、要望を聞き献立を作成しています。また、水分量を確保するため、いつでも飲めるよう用意し、声かけをしています。毎日の水分量、食事量を把握するため個々に記入しています。		
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	すべての職員が研修に参加し、感染予防に努めています。手で触れる所(手すり、ドアノブ、トイレ廻り)を次亜塩素酸ナトリウム0.02%で朝夕拭いています。手洗い、うがいは誘導し、その都度していただいています。ご家族にも説明し、外出、外泊の時には状態を確認しております。		
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	新鮮な食材を毎日配達してもらい、新鮮なうちに使う。十分な手洗い、加熱で調理用具等は乾燥機、ハイター等で消毒しています。定期的に冷蔵庫内の整理をしています。		
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>				
<b>(1)居心地のよい環境づくり</b>				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関前に長椅子を置き、その周辺にはプランターに花や季節の野菜を植え、気軽に出入りできるようにしています。		
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節の花を飾ったり、写真または利用者と共に作成したちぎり絵、ぬり絵等を食堂、廊下に掲示しています。季節感を取り入れた食事、行事(七夕、菖蒲湯)を行っています。		
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	1階にはリビング、2階にはいこいの部屋があり自由に行き来でき、本等読まれています。また、玄関には長椅子が置かれ、裏庭にはテーブルと椅子を配置し仲良く話をしたり、お茶を飲んだり自由に散歩されたりしています。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	愛着のある家具や飾り物を置き、居心地のよい温かみのある居室になるよう本人、ご家族と相談しながら居心地よく過ごせる工夫をしています。		
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	換気を十分に行い、温度調節も入居者様に合わせて適宜行っています。		
<b>(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり</b>				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	階段にはリフトがあり、廊下、トイレ、浴室、中庭等至る所に手すりを付けて安全に自立生活が送れるよう工夫しています。		
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	料理の器選び、盛り付け、洗濯ものたたみ、庭掃除など一人ひとりの出来ること、わかることを後方よりの見守り、声かけをし、混乱を防ぎ、生活できるように配慮しています。		
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	プランターには季節の花や野菜を植え、外回りにも四季の花を植え楽しまれています。玄関の長椅子に座り花を眺めたり、おしゃべりやゲームを楽しまれています。		

V. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
項 目			
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	①ほぼ全ての利用者の
			②利用者の2/3くらいの
			③利用者の1/3くらいの
			④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある
			②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と
			②家族の2/3くらいと
			③家族の1/3くらいと
			④ほとんどできていない

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている		①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
		○	③たまに
			④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている		①大いに増えている
		○	②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
98	職員は、生き生きと働いている	○	①ほぼ全ての職員が
			②職員の2/3くらいが
			③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が
			②家族等の2/3くらいが
			③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

**【特に力を入れている点・アピールしたい点】**

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

私たちのグループホームの近くには、日の峰大神子広域公園（大神子海岸・子ども広場）があり、空気もよく自然に恵まれております。また、隣接している病院（同法人）には様々な種類の木々のあるリハビリ庭園（夢の園）もあり、季節を感じていただく事ができます。隣接した病院では、緊急時にはすぐに対応ができ、安心できます。季節毎の花を眺めながら玄関前の長椅子で雑談をしたり、ゲーム等を楽しんでいます。毎朝、足腰強化の為に飲み物を持って散歩に出掛けたり、夢の園や海岸で野外食を楽しんだりしています。室内ではテレビ体操、リハビリ体操、カラオケ等楽しんでいただいています。